

「タブレットを活用したサービス倫理の取組」

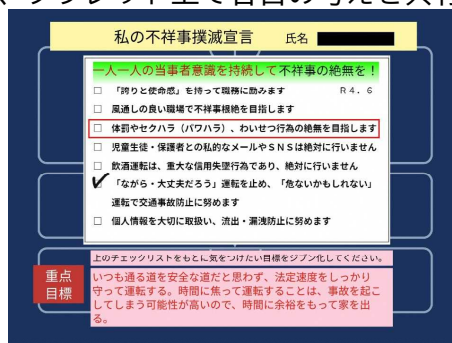
取組の内容

飯舘村立いいいたて希望の里学園

本校では、教職員が当事者意識・危機意識を高めながら継続的に取り組むために共通実践事項を決め、携行カードで持ち歩くようにしている。しかし、職員間で各自の考えを共有することが難しく、目標の形骸化が見られるなどの課題が見られた。そこで、今年度は協働学習支援ツールを活用し、タブレット上で各自の考えを共有化しながらサービス倫理に取り組んでいる。

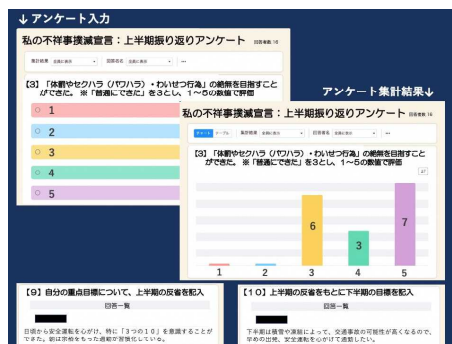
1 タブレットを使って取組を「ジブンごと化」し、職員間で共有

今年度は「一人一人の当事者意識を持続して不祥事の絶無を！」を合い言葉に、体罰やセクハラ（パワハラ）、わいせつ行為の絶無を含む7つの共通実践事項を設け、タブレット上で「私の不祥事撲滅宣言」＝「重点目標化」を実施した。



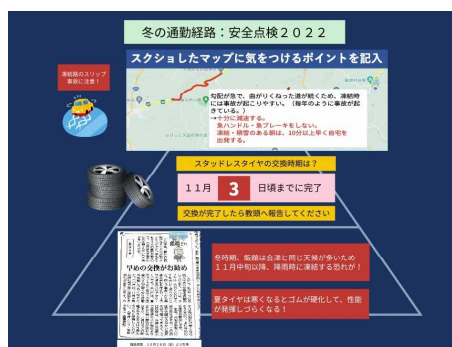
2 オンラインアンケートで共通実践事項等の実施状況を把握

上半期の7つの共有実践事項や各自の重点目標の実施状況、下半期の取組を把握するため、タブレット上でオンラインアンケートを実施。リアルタイムで実施状況を共有した。



3 オンライン資料で冬の通勤経路やタイヤ交換時期を確認！

本校は標高500mの場所に校舎があるため、冬期間に向けて早め早めの準備が必要となる。今年度は、11月中旬に初雪・道路凍結が予想されたため、職員のタブレットにオンライン資料を配付し、スタッドレスタイヤの交換時期や積雪・凍結時の通勤経路の点検を実施した。



成果と課題

- タブレット上で、リアルタイムに職員の実態や各自の考え・反省等を共有することで、多様な考え方や取組に触れることができ、不祥事の絶無に対する意識の向上・継続につなげることができた。
- 冬の通勤路点検・タイヤ交換の呼びかけでは、オンライン資料を配付することで、月1回のサービス倫理委員会を待つことなく、必要な時期に合わせてタイムリーに実施することができた。
- 本校でのタブレットを活用したサービス倫理の取組は始まったばかり。今後も効果的な活用の仕方を工夫しながら、継続的に取り組んでいきたい。